

第26回 CEEシンポジウム

主催： 東京大学エネルギー工学連携研究センター（CEE）
科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業（CREST）
共催： 東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）
東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター（FR CER）

「エネルギー需要を科学する」

－ エネルギーマネジメント時代の家庭用エネルギー需要を考える －
－ 何かわかっていて何かわかっていないのか、これから何が明らかにされるべきか －

エネルギーマネジメントにおいて需要サイドの果たす役割は大きい。科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業（CREST）における、「分散協調型エネルギー管理システム構築のための理論及び基盤技術の創出と融合展開」研究プロジェクトにおいても、需要サイドの研究が重要視されており、「需要科学」という新たなテーマを掲げ、エネルギー需要を主体としてとらえ、エネルギー需要自体の内部構造、変容の可能性について解明することを目的として研究が進められている。本シンポジウムでは、需要の中でも、単位が小さく、経済合理性が必ずしも機能すると限らないためにマネジメントが困難な「家庭部門」に着目し、CRESTプロジェクトの内外の研究者を招聘し、エネルギーモデル、デマンドレスポンス効果、省エネルギー行動等に関する各種研究の成果を紹介し、これからのエネルギーマネジメント時代の家庭用エネルギー需要について議論を深める一助としたい。

プログラム

日時	平成28年 11月21日（月） 13:30～17:05 (受付開始 13:00)	13:30	開会挨拶 エネルギー工学連携研究センター長 鹿園直毅
会場	東京大学生産技術研究所 コンベンションホール（An棟 2階）	13:40	エネルギーマネジメントにおける需要研究のあり方 大阪大学大学院工学研究科 下田吉之
交通	小田急線/千代田線 東北沢駅より徒歩7分 代々木上原駅より徒歩12分 京王井の頭線 駒場東大前駅より徒歩10分	14:20	需要家の行動変容に影響を与える要因に関する基礎的研究 東京工業大学環境・社会理工学院 日高一義
参加費	シンポジウム 無料 意見交換会 4,000円	14:50	エネルギー消費のデマンドレスポンスの行動経済学的研究 京都大学大学院経済学研究科 依田高典
		15:20	休憩
		15:30	居住者行動に基づくエネルギー需要のモデル化 大阪大学大学院工学研究科 山口容平
		16:00	省エネ・節電行動の実態や促進策、効果検証の課題 電力中央研究所社会経済研究所 西尾健一郎
		16:30	電力システムからみた需要部門に対するニーズとHEMSの役割 東京大学生産技術研究所 岩船由美子
		17:00	閉会挨拶 東海大学情報技術センター 中島 孝
		17:30	意見交換会 An棟1階レストラン「ape アーペ」

■お申し込み（要事前登録）

Web申込フォームよりご登録下さい
<http://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp>

- 申込締切:定員250名に達した時点
※当日受付の予定はございません。

■お問い合わせ

東京大学生産技術研究所
エネルギー工学連携研究センター
岩船研究室
TEL : 03-5452-6717
FAX : 03-5452-6718
Email: maekawam@iis.u-tokyo.ac.jp